

1月22日 18:30～

ミヨリの森

2007／116min.／Color

監督＝山本二三

[物語]

不仲な両親の間で育ったミヨリ(蒼井優)(11歳)。そのせいか空想癖があり、いつも心を閉ざして他人との関係をずっと否定してきた意地っ張りな少女だった。母(吉崎典子)は男をつくって家を出て行き、ミヨリを一人で育てることに不安を感じた父(伊藤利尋)は、ミヨリを祖母(市原悦子)の住む田舎に預ける。

祖母の家に着いた早々にミヨリは近くの森に散歩に出かける。ミヨリは何もない森の中で強い孤独を感じていた。しかしその森で数々の不思議な出来事に遭遇する。雷で折れたはずの桜の木が花をつけていたり、いるはずのないトラが現れたり…それはいつもの自分の空想ではなかったのだ。

やがて森の精霊たちがミヨリの前に姿を現しだす。森の番人ボクリコ(高島彩)、カノコ(天野ひろゆき・キャイ〜ン)、ワシラシ(松尾翠)、そして一本桜の精(元ちとせ)などなど。精霊たちの姿は人間ではミヨリにしか見えず、しかもミヨリに森を守って欲しいと頼むのだった。それはミヨリにとって何もない田舎のはずが不思議で驚きの毎日の始まりだったのだ。

ミヨリは祖父母との暮らしや岡子先生(佐々木恭子)のいる新しい学校での生活、森の精霊たちと接することで少しずつ心を開いていく。そしてこの森が自分を癒してくれている事に気付き、そして考え始める。両親、友達、自分自身、そしてこの“森”のことを一

しかしこの森は近い将来、ダムの底に沈む運命にあった。その事を知ったミヨリは友達や森の精霊たちとダム建設計画を阻止しようとする行動に出るのだった…。

1月23日 14:00～

科学忍者隊ガッチャマン

1978年／110min.／カラー

監督＝鳥海永行

[物語]

宇宙の彼方から地球へと飛来した謎の侵略者・総裁 X は、その脅威の力によって特殊なミュータントである忠実な僕・ベルクカツツェを誕生させる。そしてカツツェを首領として秘密結社ギャラクターを結成し、地球侵略作戦を開始した。一方、国際科学技術庁の南部博士はギャラクターに対抗するため、密かに編成していた少年少女による特殊部隊・科学忍者隊を招集。大鷲の健、コンドルのジョー、白鳥のジュン、燕の甚平、みみずくの竜ら五人のメンバーは南部博士の指令のもと、大型戦闘偵察機ゴッドフェニックスに乗り込み出動する。超越した悪魔のような科学力を用い、巨大な鉄獣メカを操って世界の平和を脅かすギャラクター。人類を破滅へと導く“V2計画”、そして

“ブラックホール作戦”とは？ 地球の命運を賭け、科学忍者隊とギャラクターの戦いの火蓋が切って落とされた。

1月24日 14:00～

新SOS大東京探検隊

2006年／40min.／Color

監督＝高木真司

[物語]

2006年、夏。5年生の尾崎竜平は、父親の昇平が小学生のときに書いた「大東京地下探検記」というノートを見つける。そこで竜平はチャット仲間の俊と義雄を誘って、新しく探検隊を結成。夏休みのある日、勝手についてきた弟のサスケを加えた4人で、地図に記された秘密の宝物をめざして、マンホールから地下に降りる。やがて少年たちは地下で暮らす又吉と出会い、誰もいないと思われた世界に怪しげで、しかし気のいいオトナが数多く住み着いていることを知る。子どもたちは住人に歓迎されるが、それで何かのタガが外れたのか、旧日本陸軍の生き残りと呼称する山下老人や、義雄のいとこの桃代までも巻き込んで、居住地は謎の運動家たちが繰り出す火炎瓶と38歩兵銃の銃弾が飛び交う戦場となる。果たして、地下に隠された“日本の宝”の正体とは――？

こまねこのクリスマス -迷子になったプレゼント-

2009年／20min.／カラー

監督：合田 経郎

[物語]

山の上のおうちにおじいとうまちゃん、ものづくりが大好きなこねこの女の子。クリスマスにパパとママに会えるのを楽しみにしていたこまちゃんのもとに、2人からちょっと早いプレゼントが届きます。かわいいお人形に大喜びのこまちゃんでしたが、そこには「クリスマスには帰れない」と書かれた手紙も同封されていました。すっかり元気をなくしたこまちゃんに、友達の発明少年ラジボーがある提案をもちかけて・・・。

1月25日 18:30～

プランゼット

2010年／53min.／Color

監督、原作、脚本＝栗津順

〔物語〕

2053年の地球。人類は宇宙から突然現れた謎の生命体の侵略により、人口の大半を失ってしまう。人類の反撃作戦がことごとく失敗する中、日本方面軍・富士基地では敵拠点を攻撃する最終作戦「プランゼット」が計画される。基地の死守を命じられたロボット兵器の搭乗員・明嶋大志は、その作戦を前にたった1人の家族である妹のこよみを安全な火星へと避難させる。出撃した大志たちは圧倒的な数の敵と対峙する。果たして人類滅亡の危機を救えるのか…。監督は「惑星大怪獣ネガドン」の栗津順。

惑星大怪獣ネガドン

2005年／25min.／Color／

プロデューサー、監督、脚本＝栗津順

〔物語〕

昭和百年を迎えた近未来。世界人口は100億人を超え、資源探求のための宇宙開発事業が進行していた。ある日、火星から帰還途中の宇宙輸送船「いざなみ」が日本に墜落し、積載されていた宇宙怪獣ネガドンが覚醒、東京に向けて侵攻する。隠遁生活を送るロボット工学の権威・樽崎龍一は、ネガドンの姿を映し出すテレビを見ながら、事故で亡くした娘との約束を思い出し、科学と人類の未来を守るため、彼自身が作り出したロボットに乗り込み、ネガドンとの対決に向かう…。

カクレンボ

2005年／24分／カラー

監督、原案、絵コンテ、CGIアニメーション、編集＝森田修平

〔物語〕

暗い街があった。荒廃し、渾沌とした街の中に出来る隙間。路地の明かりが燈るとき、その向こうには、子供にしかできない遊び、子供にしか入れない世界があった。子供たちは知っている。鬼と呼ばれる異形の者達との「オトコヨ様のお遊戯」、秘密の遊び「カクレンボ」のことを。行方不明になった妹を探すためにカクレンボに参加する少年ヒコラ、そしてヤイマオ。鬼の正体を暴こうとする3人組のノシガ、タチジ、スク。不気味な双子インム、ヤンク。そしてたった一人の女の子。子供たちは知りたかった。この遊びを、この街を、この世界を…。

1月26日 18:30～

雲のむこう、約束の場所

原作・脚本・監督:新海誠

キャラクターデザイン・作画監督:田澤潮

美術:丹治匠・新海誠

音楽:天門

製作・配給:コミックス・ウェーブ

配給協力:ファントム・フィルム

声の出演:吉岡秀隆、萩原聖人、南里侑香、石塚運昇、井上和彦、水野理紗

2004年/日本/カラー/1時間31分/ヴィスタサイズ/ドルビーSR

日本が南北に分断された、もう一つの戦後の世界。米軍統治下の青森の少年・藤沢浩紀(ヒロキ)と白川拓也(タクヤ)は、同級生の沢渡佐由理(サユリ)にあこがれていた。彼らの瞳が見つめる先は彼女と、そしてもう一つ。津軽海峡を走る国境線の向こう側にそびえる、謎の巨大な「塔」。いつか自分たちの力であの「塔」まで飛ぼうと、小型飛行機を組み立てる二人。

だが中学3年の夏、サユリは突然、東京に転校してしまう……。そしてヒロキとタクヤも、それぞれ別の道を歩き始める。

3年後、ヒロキは偶然、サユリがあの日からずっと原因不明の病により、眠り続けたままなのだとことを知る。サユリを永遠の眠りから救おうと決意し、タクヤに協力を求めるヒロキ。そしてサユリの目を覚まそうとする二人は、思いもかけず「塔」とこの世界の秘密に近づいていくことになる。

はたして彼らは、いつかの放課後に交わした約束の場所に立つことができるのか…
…。

1月27日 18:30～

時をかける少女

細田守 2006 98分

あらすじ

高校2年生の紺野真琴は、故障した自転車で遭遇した踏切事故をきっかけに、時間を跳躍する能力を得る。

叔母の芳山和子にその能力のことを相談すると、それは「タイムリープ」といい、年頃の女の子にはよくあることだという。記憶の確かな過去に飛べる能力。半信半疑の真琴だが、ひとたびその力の使い方を覚えると、それをなんの躊躇も無く、日常の些細な不満や欲望の解消に費やす。世界は私のもの！

バラ色の日々と思われたが、クラスメートの男子生徒、間宮千昭や津田功介との関係に変化が。友達から恋人へ!? 千昭から思わぬ告白を受けた真琴は狼狽のあまり、そ

の告白をタイムリープで、強引に無かったことにしてしまう。

やりなおされた「過去」。告白が無かったことになった「現在」。ところがその千昭に、同級生の友梨が告白。まんざらでもなさそうな千昭。さっきまで真琴に告白していたのに！ 面白い真琴。その上、功介にあこがれる下級生、果穂の相談まで受けてしまう。

いつまでも3人の友達関係が続けばいいと考えていた真琴の望みは、タイムリープでかえってややこしく、厄介な状況に。叔母の和子は「つきあっちゃえばいいのに」と、のんきなアドバイス。真琴は果穂の恋を成就させるために、タイムリープで東奔西走するのだが…。